



松尾議員が代表質問で表明 幅広い市民とくらし守る市政めざす

寝屋川民報

議会版

発行
日本共産党
寝屋川市会議員団
824-1181
(内線 2399)
FAX No. 824-7760
Email : jcpc@cc-net.or.jp
No. 2051

田中 ひさ子
国松町 10-36
823-1714

寺本 とも子
豊里町 38-1-105
829-9424

中林 かづえ
宝町 4-33
839-2289

中谷 光夫
高官2-19-5
823-5947

松尾 信次
下木田町 12-6
821-7427

市民のくらしきびしい今こそ 「住民福祉」の本来の役割を

八日、日本共産党議員団の松尾信次議員が代表質問をおこないました。

質問に先立つて、松尾議員は、二期八年の馬場市政は、①福祉・教育の顕著な後退

②大型開発は特別扱い、

廃プラ処理施設の建設

強行 ③市民の意見を聞かないなどの重大な問題がある。四月二二日投票の市長選挙では、①大型開発を見直し、くらしを守る ②市民の意見を聞く、あたりまえの市政への転換をめざして、幅広い市民とともにたたかうことを表明しました。

松尾議員は、「市民のくらしと市政の役割について」、法人企業の所得が八年間で十九

兆円も増えているのに、家計と個人企業では四一兆円も所得が減りました。

格差や貧困の拡大の影響を大きく受けている。

国の中政のもと 市は負担軽減を

松尾議員は、市民のくらしを守る施策の充実をもとめ、国の税制改悪による庶民増税のもと、市独自の負担軽減措置として、次の四点をまとめました。

①「申告すれば税が安くなる場合」、一国保

料や医療費、介護費用が控除対象になること

と、「介護認定を受けている場合には障害者の認定を受けられる

場合があること」、「国保料には減免措置があること」など、今ある制度の周知をはかる。

制度が変わらないのに税金がかかり、大幅な増税になり生活が困難な世帯には、税の减免や分納の適用をはかる。

②所得が変わらないの

に税金がかかり、大幅な増税になり生活

が困難な世帯には、税

の减免や分納の適用をはかる。

③国保料や介護保険料

に連動しない措置をとる。
④従来、非課税であった人が課税になり、医療や健診など大幅な負担増となる。これらの負担軽減策をとる。

松尾議員は、続いてくらしを守るために、生活保護・介護保険・国民健康保険・障害者施策・保育・子育て支援・検診用の拡充など、具体的に質問しました。

この他、松尾議員は、

大学教授の証言をふま

え、健康講査などの実施をもとめて、再質問できびしく市の姿勢を追及しました。

大きく新聞報道された廃プラ裁判での二人の大学教授の証言をふまえ、健康講査などの実施をもとめて、再質問できびしく市の姿勢を追及しました。

八日、与党は方的な予算委員会での強行採決は、十八年ぶりの暴挙です。衆院本会議は、二日未明にまでもつれこみました。

憲法改悪につながる考

え方があります

が、本当にそうでしょ

うか。政治の現実は、倍首相の判断といいま

す。講師の大学教授が、本当にそうでしょ

うか。政治の現実は、

が、本当にそうでしょ

<p